

■一般目標（GIO）

無歯顎の患者の口腔内と同様の三次元的関係に位置付けられた無歯顎模型上で全部床義歯を製作するために、その理論的背景、技術および製作方法を理解する。

■到達目標（SBOs）

- ・全部床義歯の埋没、流ろうおよび重合を説明できる。
- ・選択削合、自動削合の目的と方法を説明できる。
- ・リベースとリラインの目的、方法を説明できる。
- ・金属床義歯の利点と欠点を説明できる。

■教科書：（教1）最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

（教2）最新歯科技工士教本 歯科技工実習（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18：00～18：45

■オフィスアワー：岡田 真治 火曜日・17：00～17：45

今井 秀行（imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp）火曜日・17：00～17：45

■成績評価：定期試験（80％）と平常試験（20％）で総合的に評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：平常試験はシラバス記載以外にも随時行うことがある。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第8回時に平常試験と解説を実施する。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：岡田 真治：現在、歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座に在籍しており、全部床義歯を専門とする歯科医師の立場から、口腔内で機能させる全部床義歯の必要性や理論を講義していく。
今井 秀行：歯科技工士として臨床経験をもとに本講義が補綴装置の製作や将来歯科技工士として就業するために重要であり、学ぶ場を提供したいと考える。

■関連教科：有床義歯技工学（1年，3年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月14日 今井 秀行	1. 有床義歯の埋没と重合 (教1)pp. 81-88	・埋没の種類と方法を説明できる。 ・義歯床用レジンの中合法の種類と特徴を説明できる。 ・全部床義歯の埋没、流ろうおよび重合を説明できる。
第2回 10月28日 今井 秀行	2. 全部床義歯の咬合器への再装着、削合 (教1)pp. 89-102	・咬合器再装着の方法を説明できる。 ・選択削合、自動削合の目的と方法を説明できる。
第3回 11月4日 今井 秀行	2. 全部床義歯の研磨 (教1)pp. 89-102	・研磨の目的を説明できる。 ・理解度の低い箇所について知識を深めることができる。
第4回 11月18日 岡田 真治	3. 修理 4. リベースおよびリライン (教1)pp. 232-249	・破折と破損の原因を説明できる。 ・修理方法の説明ができる。 ・リベースとリラインの目的、方法を説明できる。
第5回 12月2日 岡田 真治	5. オーバーデンチャー 6. 金属床義歯 (教1)pp. 250-265	・オーバーデンチャーの目的、種類を説明できる。 ・金属床義歯の利点と欠点を説明できる。 ・金属床義歯の製作法を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第6回 12月16日 岡田 真治	7. その他の有床義歯 (教1) pp. 274-273 8. 睡眠時無呼吸症の治療のための口腔内装置 (教2) pp. 160-165	・ジルコニアを用いた義歯を説明できる。 ・睡眠時無呼吸症治療用の口腔内装置について説明できる。
第7回 1月20日 今井 秀行	9. 後期のまとめ 「平常試験」と解説	・第1～6回の講義内容について理解度を確認できる。 ・理解度の低い箇所について知識を深めることができる。